

KURE Shinkin Bank REPORT

2009.4.1 ▶ 9.30

平成 21 年度上期の業況について

平成21年度上期の業績

平成21年度上期 事業の概要

平成21年度上期は、昨秋からの大幅な景気後退は底を打ったものの、回復力は弱く引続き厳しい経済環境となりました。こうした状況下、当金庫では中小企業等の資金繰り支援のための融資を継続したほか、個人のお客様に対しても雇用・所得が悪化する中で生活設計見直しに伴う金融面でのサポートに積極的に取り組んでまいりました。

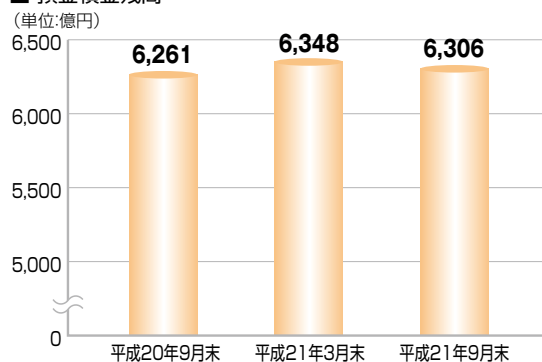
この間、当金庫の業績については、預金・預り資産の合計額は期中10億円の増加にとどまり、貸出金は期中97億円減少し、不良債権も一進一退を続けました。一方、収益面では経費の削減などから前年同期比若干ながら増益（コア業務純益で83百万円増）を計上することができ、自己資本比率も10%台央を維持しました。

■ 預金積金、預り資産

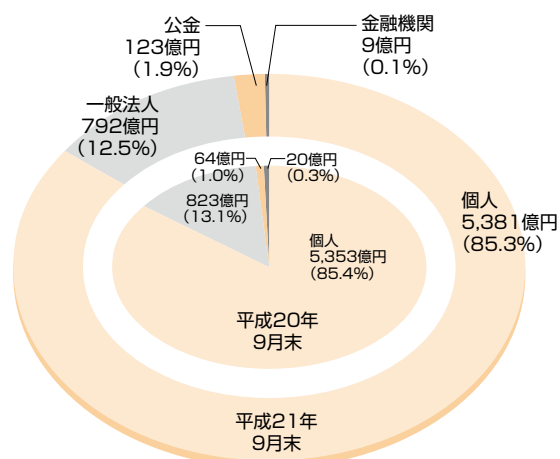
■ 預金積金残高は期中41億円減少

低金利が続く中でお客様への金利メリットを確保するため、退職金専用定期、年金優遇定期、投資信託とのセット商品「くれしんGOODマネープラン」などに加え、ATM定期預金やテレホンバンキングによる定期預金推進など、地域に密着した積極的な営業活動に努めてまいりましたが、昨秋より続く景気後退の影響により、期中41億円減少し、9月末残高は6,306億円となりました。

■ 預金積金残高



■ 預金者別預金構成比

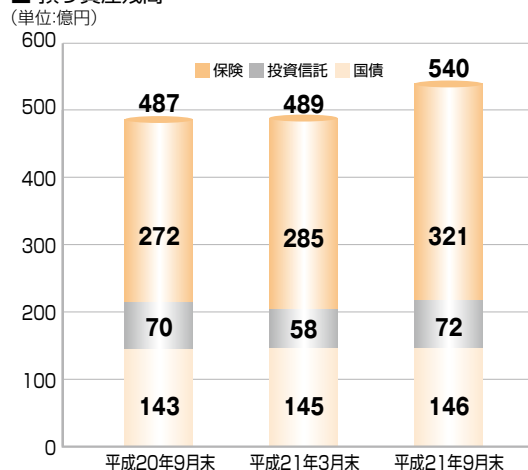


■ 預り資産残高は期中51億円増加

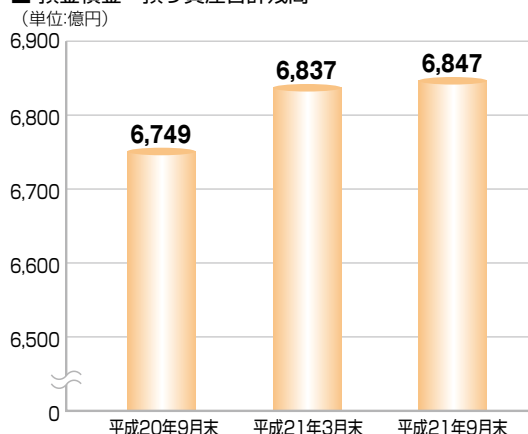
お客様のライフデザインに合わせた金融資産形成・運用をお手伝いするため、投資信託や保険商品の品揃えを充実するとともに、営業店での資産運用セミナーの開催など、お客様から信頼される営業活動を展開してまいりました結果、期中51億円増加し、9月末残高は540億円となりました。

なお、アドバイス機能の一層の強化に努めるため、ファイナンシャル・アドバイザーを9地区に16名配置しております。

■ 預り資産残高



■ 預金積金・預り資産合計残高



■ 貸出金

■ 貸出金残高は期中97億円減少

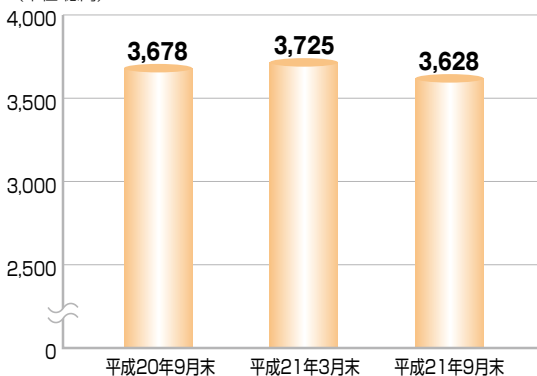
地域のお客様からお預かりした大切な資金は、「小口」、「多数」でのご融資をモットーに、地域の個人のお客様をはじめ多くの法人・個人事業者のお客様に幅広くご利用いただいています。

法人・個人事業者のお客様には、中小企業を取り巻く経営環境の厳しい状況が続く中で、資金繰り円滑化支援のため、担保・保証に過度に依存せず、経営者の手腕などの将来性を見据えた資金供給に取り組みました。

個人のお客様には、住宅資金や消費資金等のライフサイクルに沿った金融面からの支援に取り組んでまいりましたが、昨秋より続く景気後退の影響による資金需要の鈍化により、期中97億円減少し、9月末残高は3,628億円となりました。

■ 貸出金残高

(単位:億円)

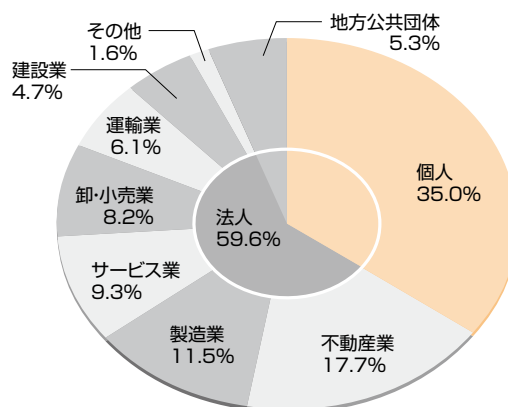


■ 貸出金業種別残高内訳

(単位:億円)

業種	平成20年9月末	平成21年3月末	平成21年9月末
製造業	415	433	420
卸・小売業	295	297	300
運輸業	233	217	222
サービス業	364	351	340
建設業	200	191	174
不動産業	625	668	643
その他	63	69	60
地方公共団体	193	210	193
個人	1,287	1,286	1,271
合計	3,678	3,725	3,628

■ 貸出金業種別残高構成比 (平成21年9月末)



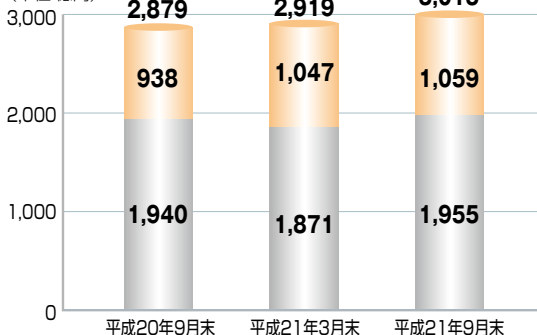
■ 有価証券等

■ 安全性重視で運用 含み益は18億円に

お客様からお預かりしている資金の一部は、安全性を重視し、比較的风险の低い国内債券を中心とした有価証券および信金中央金庫（信用金庫の中央機関）への預け金で運用しています。

■ 有価証券等残高

(単位:億円)



(注) 有価証券残高は、その他有価証券が時価、満期保有目的の債券および子会社・関連会社株式は取得価額で計上することとなっております。

9月末の有価証券と預け金の合計額は、国内債券へ積極的に新規投資したほか、債券、株式ともに時価が増加したこともあって、期中96億円増加し3,015億円となりました。また、有価証券全体の評価損益は18億円の含み益となっています。(前期末から35億円改善)

■ 有価証券の時価情報 (平成21年9月末)

(単位:百万円)

	取得価額 (A)	時価 (B)	含み益 (B) - (A)
その他有価証券	184,840	187,019	2,179
株式	6,487	6,208	△279
債券	175,547	178,371	2,824
その他	2,805	2,439	△366
満期保有目的の債券	8,520	8,201	△318
子会社・関連会社株式	40	40	—
合計	193,401	195,262	1,860

■ 不良債権の状況

■ 不良債権比率は0.62ポイント上昇

景気の持ち直しが見られる中、不良債権の削減に向けて、計画的な回収を行ったほか、お取引先に対する経営改善への取組みによるランクアップ等を図りましたが、昨年来の景気低迷の影響は大きく、不良債権（金融再生法ベース）の合計額は期中17億円増加し、232億円となりました。

その結果、不良債権比率は期中0.62ポイント上昇し、6.34%となりました。なお、こうした不良債権のうち、79.41%は貸倒引当金や担保・保証等によって保全されており、残りの約20%にあたる48億円は、自己資本（368億円）により、十分にカバーされております。

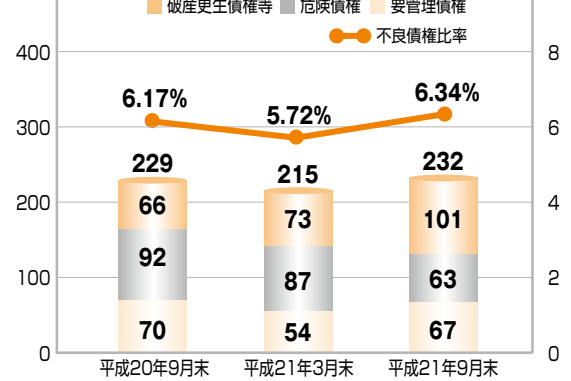
■ 金融再生法開示債権

(単位：億円)

区 分	平成20年9月末	平成21年3月末	平成21年9月末
破産更生債権等 (A)	66	73	101
危険債権 (B)	92	87	63
要管理債権 (C)	70	54	67
上記合計額 (D) = (A) + (B) + (C)	229	215	232
正常債権 (E)	3,488	3,547	3,431
合計額 (F) = (D) + (E)	3,717	3,762	3,663

■ 不良債権額（金融再生法に基づく開示額）・不良債権比率

(単位：億円) (単位：%)



■ 保全率・不良債権比率

(単位：億円)

区 分	平成20年9月末	平成21年3月末	平成21年9月末
不良債権額 (A)	229	215	232
保全額 (B)	177	177	184
保全率 (B) ÷ (A)	77.44%	82.55%	79.41%
総与信 (C)	3,717	3,762	3,663
不良債権比率 (A) ÷ (C)	6.17%	5.72%	6.34%

(注) 総与信 = 正常債権 + 不良債権

■ 損益の状況

■ 経常収益は減収

貸出金利息および預け金利息は前年同期比若干増加したものの、株式配当の減少や円高による影響により有価証券利息配当金が減少したため、資金運用収益は前年同期比1億44百万円の減収となりました。しかしながら、役員取引等収益の増加や債券売却益等により、経常収益は前年同期比61百万円の減収にとどまり、71億49百万円となりました。

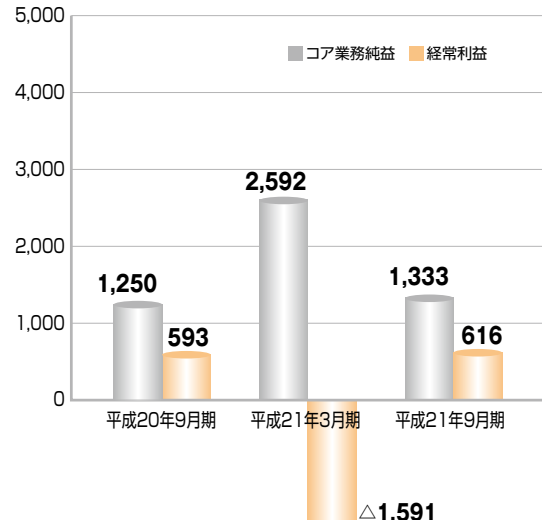
■ 経常利益・コア業務純益は増益

費用面では、不良債権処理費用が増加したものの、金利の低下により預金積金利息が減少したことに加え、有価証券売却損が発生しなかったことや経費支出を抑えたことにより、経常費用は65億33百万円（前年同期比84百万円減）となりました。この結果、経常利益は6億16百万円となり、前年同期比22百万円の増益になりました。

なお、本業の収益力を示すコア業務純益は13億33百万円と、前年同期比83百万円の増益となりました。

■ コア業務純益・経常利益

(単位：百万円)



(注) コア業務純益とは、金融機関固有の収益指標である業務純益から国債等債券損益と一般貸倒引当金繰入額を控除したもので、信用金庫本来の事業活動のみの利益を示す指標です。

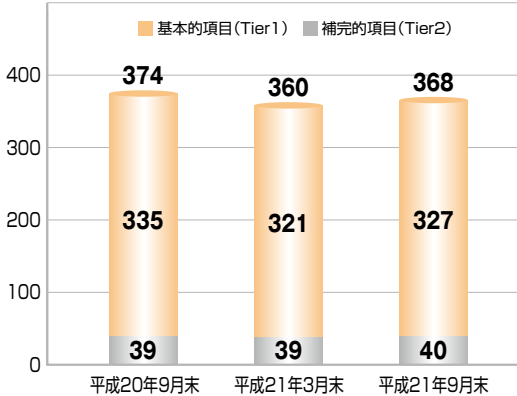
■ 自己資本比率（単体）の状況（概算値）

■ 自己資本額は368億円（概算値）に

自己資本額は、期中7億円増加し、368億円になりました。

■ 自己資本額（概算値）

(単位:億円)



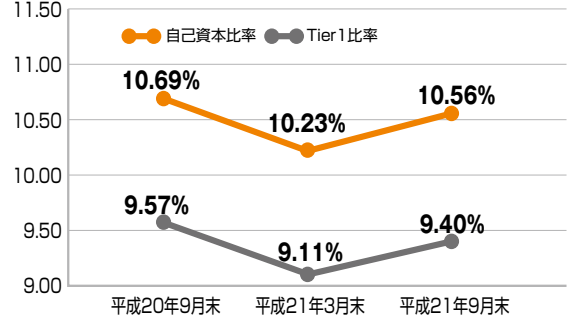
- (注) 1. 信用金庫では正式な中間決算を行っていませんので、自己資本額は概算値となります。
2. Tier1とは、自己資本額のうち出資金や特別積立金等の基本的項目のことをいいます。

■ 自己資本比率は10.56%(概算値)に

自己資本比率は、期中0.33ポイント上昇し10.56%となりました（国内基準4%）。また、Tier1比率も期中0.29ポイント上昇し9.40%となりました。

■ 自己資本比率・Tier1比率（概算値）

(単位:%)



- (注) 自己資本比率算出にあたり、貸出金の信用リスク・アセットについては、当金庫の定めにより概算値にて算出しています。また、オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額は平成21年3月期の計数を使用しています。そのために自己資本比率は概算値となっています。

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	平成20年9月末	平成21年9月末
《資産の部》		
現金	6,977	6,127
預 け 金	93,876	105,919
コ ー ロ ー ン	350	392
買 入 金 銭 債 権	400	400
金 銭 の 信 託	500	500
有 価 証 券	194,089	195,581
貸 出 金	367,885	362,814
外 国 為 替	38	40
そ の 他 資 産	3,765	4,684
有 形 固 定 資 産	9,969	10,181
無 形 固 定 資 産	364	342
繰 延 税 金 資 産	3,048	2,693
債 務 保 証 見 返	2,680	2,279
貸 倒 引 当 金	△8,717	△10,420
資 産 の 部 合 計	675,228	681,537
《負債の部》		
預 金 積 金	626,164	630,671
借 用 金	4,743	5,852
そ の 他 負 債	2,195	2,523
賞 与 引 当 金	428	431
退 職 給 付 引 当 金	981	995
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	174	194
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	174	174
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	1,301	1,300
債 務 保 証	2,680	2,279
負 債 の 部 合 計	638,843	644,424
《純資産の部》		
出 資 金	2,432	2,406
利 益 剰 余 金	31,451	30,392
処 分 未 済 持 分	—	△1
会 員 勘 定 合 計	33,884	32,796
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△321	1,496
土 地 再 評 価 差 額 金	2,821	2,819
評 価 換 算 差 額 合 計	2,500	4,316
純 資 産 の 部 合 計	36,384	37,113
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	675,228	681,537

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	平成20年9月期	平成21年9月期
経 常 収 益	7,211	7,149
資 金 運 用 収 益	6,455	6,310
(うち貸出金利息)	4,679	4,706
(うち預け金利息)	378	388
(うち有価証券利息配当金)	1,338	1,212
役 務 取 引 等 収 益	598	616
そ の 他 業 務 収 益	36	129
そ の 他 経 常 収 益	120	92
経 常 費 用	6,617	6,533
資 金 調 達 費 用	1,063	892
(うち預金積金利息)	1,028	845
役 務 取 引 等 費 用	388	393
そ の 他 業 務 費 用	111	16
経 常 費	4,384	4,299
そ の 他 経 常 費 用	668	931
経 常 利 益	593	616
特 別 利 益	211	213
特 別 損 失	17	3
税 引 前 当 期 純 利 益	787	826
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	54	202
法 人 税 等 調 整 額	0	△27
当 期 純 利 益	732	652

(注) 信用金庫においては中間決算が義務づけられていないため、記載金額は、本決算に準じて算定しておりますが、一部の項目について簡素化して記載しております。

本紙に掲載している計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

- 4月** 新中期経営計画『アグレッシブくれしん
～地域の明るい未来へ向かって～』スタート〔1日〕
「くれしん育英会」奨学生を10名採用〔2日〕
第52回呉みなと祭パレード参加〔29日〕
- 5月** 第7回くれしんトップセミナー開催〔15日〕
- 6月** PASPYのATMチャージサービスに参入〔3日〕
（10月21日から順次稼働）
第17回くれしん文化講演会開催〔4日〕
第84期通常総代会開催〔12日〕
呉市の認知症サポーターに、当金庫の職員346名が登録〔13日〕
くれしん海外旅行（トルコ紀行）〔18日～27日・25日～7月4日〕
- 7月** 第14回くれしんママさんバレーボール大会〔11日・12日〕
- 8月** 川尻支店新築移転オープン〔3日〕
キャリア・スタート・ウィーク実施〔24日～28日〕
- 9月** インターンシップ実施〔7日～11日〕
第15回くれしん少年サッカー大会〔12日・13日〕



PASPYチャージサービス基本合意書調印式（6月3日）



呉市の認知症サポーターに登録（6月13日）



川尻支店新築移転オープン（8月3日）

地域活動への取組み

呉みなと祭

4月29日、第52回「呉みなと祭」が開催され、快晴の中「アグレッシブくれしん」の横断幕を先頭に、くれしんのイメージキャラクター「それいけ!アンパンマン」のぬいぐるみに職員が入り、花車、御輿二基の総勢168名でパレードに参加しました。



第17回くれしん文化講演会

6月4日、呉市文化ホールにおいて評論家 金美齢さんとアナウンサー 小早川正昭さんをお招きし、金美齢さんには「凜とした母親が日本を救う」、小早川正昭さんには「マイクの裏事情」と題して講演していただきました。



第14回くれしんママさんバレーボール大会

7月11日・12日、呉市総合体育館（オークアリーナ）をメイン会場に40チーム600名の選手が参加、熱戦が繰り広げられました。優勝は、地域の部 仁方体協、クラブの部 わかばクラブ。



第15回くれしん少年サッカー大会

9月12日・13日、雨の中新調した大会旗、チーム旗をかかげ、23チーム414名の選手が熱戦を展開しました。優勝は芸南フットボールクラブ。



当金庫の概要

（平成21年9月30日現在）

■ 設立：大正14年9月

■ 店舗数：46店舗（うち3出張所）

■ 本店所在地：呉市本通2丁目2番15号

■ 店舗外ATMコーナー 43カ所 ■ 常勤役員数：766名



呉信用金庫

TEL (0823) 24-1181 <http://www.kure-shinkin.jp/>

平成21年11月発行（本紙は再生紙を使用しています）